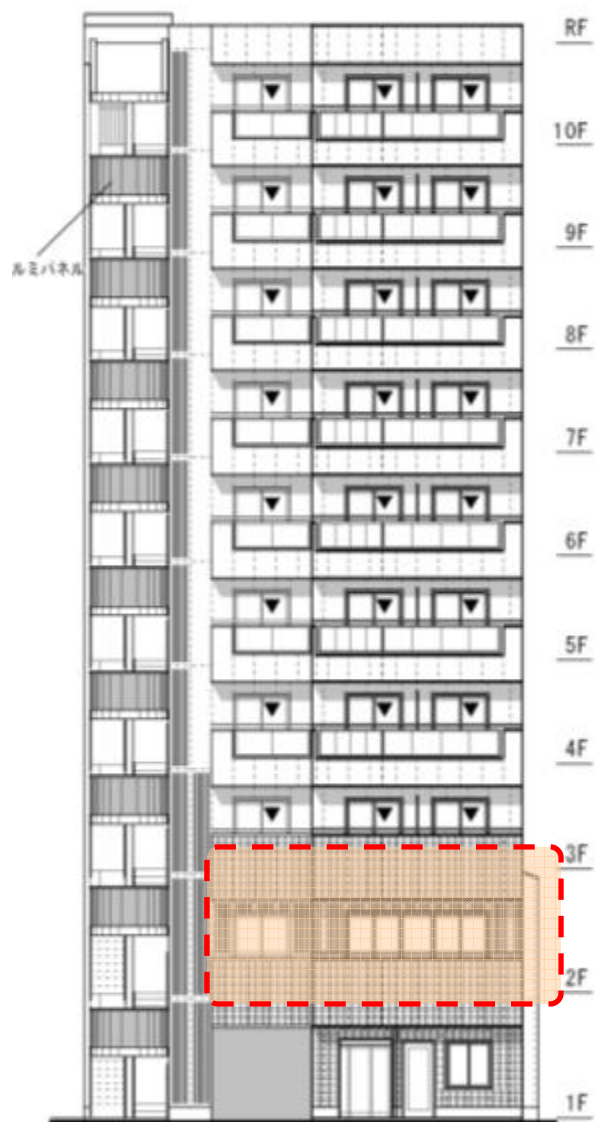
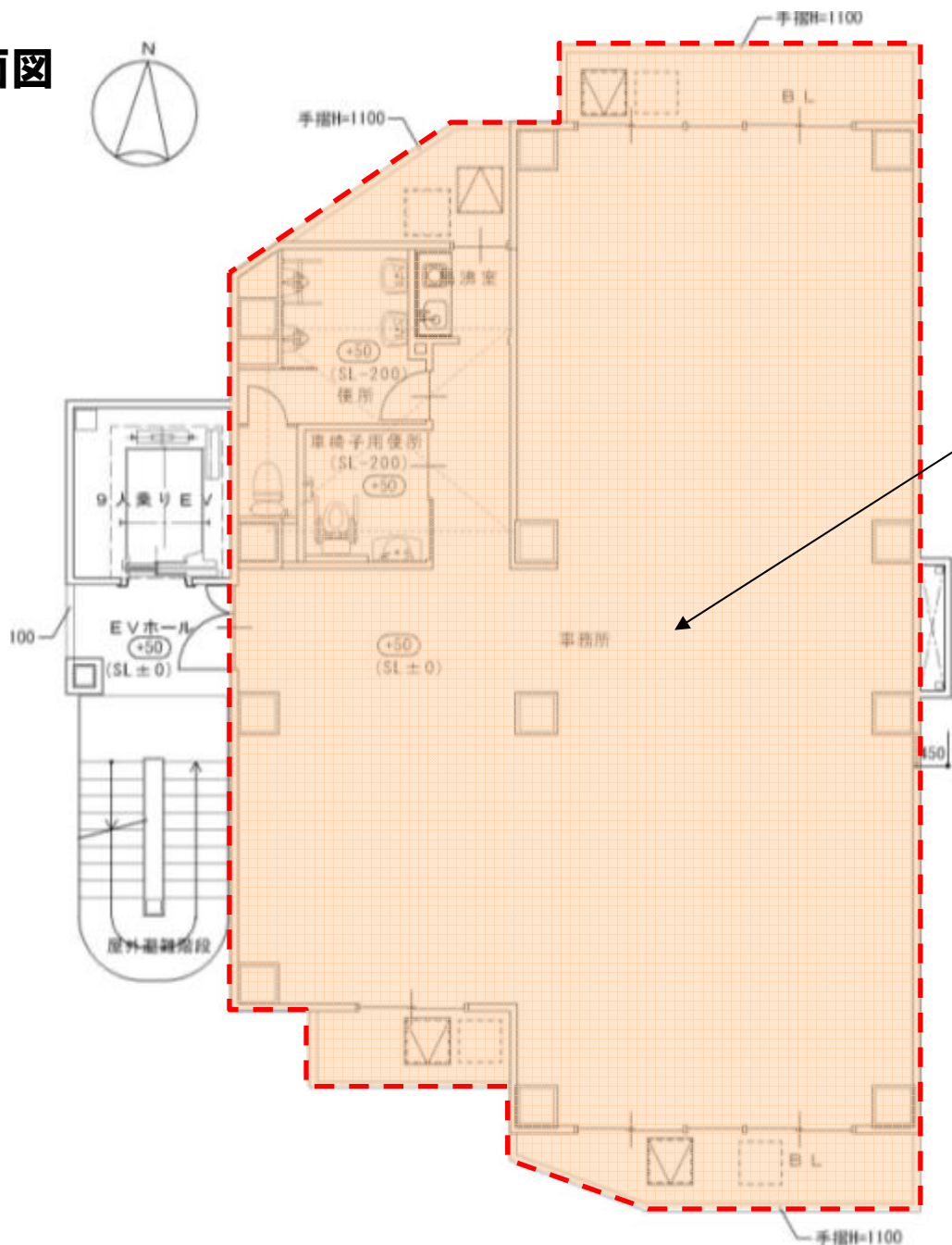


■ 2階部分は地域の「つながり・集いの場」



- ・通所支援事業や居宅生活訓練事業の利用者への支援だけでなく、救護施設等の退所者や居宅生活者の生活支援をトータルに行うアフターケアセンターを設け、釜ヶ崎での安心なくらしづくり、孤立しなくらしづくりに貢献する。

2F平面図



アフターケアセンター(平日)

コミュニティセンター(土日祝)

●通所支援事業・居宅生活訓練事業の実施場所(サテライト)として、救護施設退所者へ支援を実施

●通所支援事業・生活訓練事業の修了者へのサポートを実施
・コミュニティセンター的な場を設け、各種団体がサポート事業のパイロット的な取り組みを実施
・ネットカフェや喫茶店など気軽に立ち寄れる居場所を提供

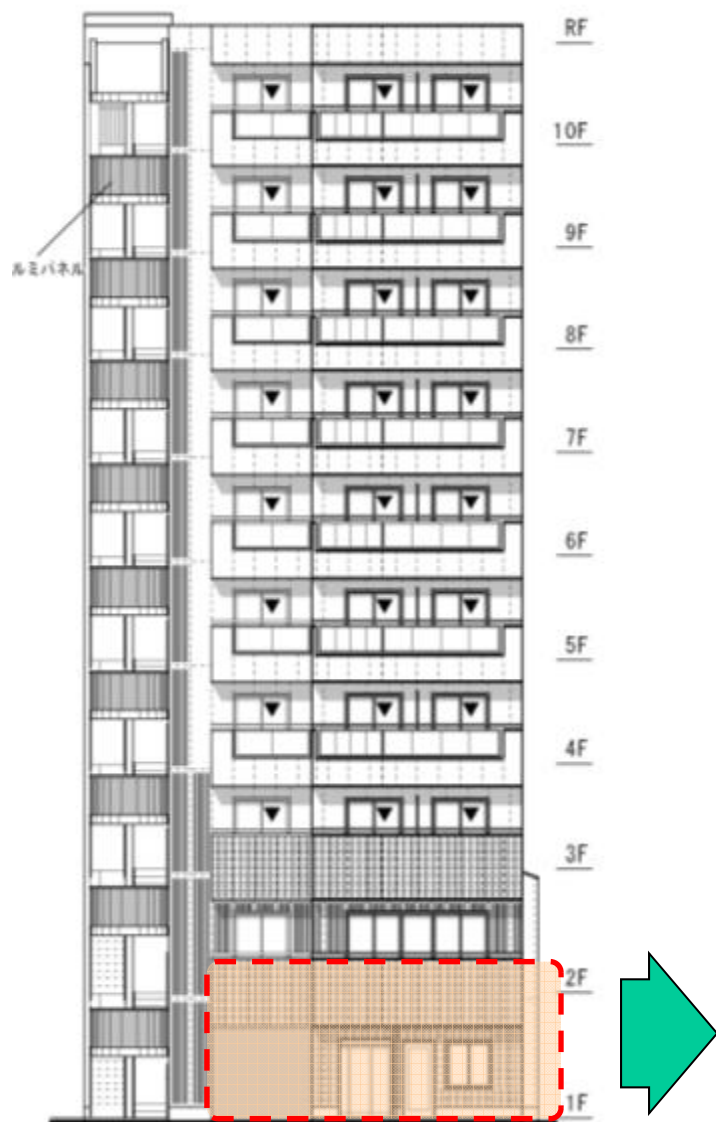
【利用者】

- ・救護施設退所者
- ・CDRマンション居住者

【利用料】

- ・通所支援事業・生活訓練事業対象者は無料
- ・各種事業修了者および退所者は会費

■ 1階部分は「安心の提供」「情報発信基地」



- あいりん地域の健康づくり、障がい者支援、高齢者介護を推進するために、地域団体と連携して、事業を進める「訪問看護ステーション」
- 釜ヶ崎発の社会福祉・社会的企業などの先駆的な取組みを支援し、その取組みを各地に発信し、多様な人々が行き交う釜ヶ崎のまちづくりに貢献する「釜ヶ崎資料センター」。

「コミュニティハウス萩」の目指すもの

「施設なき特養をめざして」

- ①簡宿から福祉アパート、日雇労働者から生活保護受給者のまちへと変化する釜ヶ崎の明日の「住まい」
- ②限られた「住まい」の選択肢で暮らすひとびとへの「住まい」の新メニュー
- ③施設に入らなくても安心して暮らせる「住まい」

●釜ヶ崎地域の「福祉における住まい」の役割を担う

- ・住居は福祉に資するという視点で釜ヶ崎地域に住居を提供する

釜ヶ崎地域の住居の選択肢を増やす

住宅扶助費で住める良質な住居

高齢になっても安心して住める住居

要介護でも安心して住み続けられる住居